

病院長名	佐藤 啓二
所在地	〒455-8530 名古屋市港区港明1丁目10番6号
交通案内	地下鉄名港線「港区役所駅」徒歩7分 金山25系統 金山-労災病院前-港区役所または野跡 名港16系統 野並車庫-労災病院前-名古屋港 港巡回 港区役所-労災病院前-多加良浦

□ 病院の特徴

当院は高度成長期の1955年に増え続けていた労働災害に対応すべく政策病院として創設されました。その後、産業構造の変化、社会構造の変化、また何よりも地域のニーズに応えるべく総合病院に進化してまいりました。

初期臨床研修医教育は「総合力を重視した専門医養成」を基本方針としており、その土台の上に、内科医としての幅広い基礎を築く期間を各科ローテーション研修として提供します。新内科専門医制度開始以前からのシステムであり、内科各科で連携して希望の研修に添えるように、「忙しくても充実した」専攻医研修プログラムを提供します。

□ 研修プログラムの特徴

中部ろうさい病院内科専門研修プログラム

- ・名古屋大学関連病院を連携病院として藤田医科大学、愛知医科大学、名古屋徳洲会病院、諏訪中央病院とも連携するプログラムです。これに加えて労災病院グループの関東労災病院・旭労災病院とも連携します。
- ・希望専門領域に重点をおいたサブスペ重点コースと各科ローテーションコースを準備します。
- ・専攻医の希望に沿い、研修実績を評価しながら、同時進行で複数科症例を経験し必須症例の経験を積むことを可能にしたプログラムです。

●サブスペシャリティ重点研修(例)

中部ろうさい病院研修プログラム：サブスペ重点研修(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	希望サブスペ	ローテーションA	ローテーションB	ローテーションC	希望サブスペ	外来研修 救急						
2年目	連携施設(特別連携施設)での研修(原則12か月)											
3年目	Subspecialty 研修 選択内科ローテーション 調整期間											

●ローテーション研修(例)

中部ろうさい病院研修プログラム：内科ローテーション研修(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器	循環器	呼吸器	神経	糖尿病・代謝内分	腎臓・ウマテ原病	外来研修 救急					
2年目	連携施設(特別連携施設)での研修(原則12か月)											
3年目	Subspecialty 研修 選択内科ローテーション 調整期間											



□ 主な連携施設

- ・名古屋大学医学部附属病院
- ・旭労災病院
- ・諏訪中央病院
- ・愛知医科大学病院
- ・豊田地域医療センター
- ・臨海病院
- ・藤田医科大学病院
- ・中東遠総合医療センター
- ・亀井内科・呼吸器科
- ・名古屋医療センター
- ・大同病院
- ・三ツ葉在宅クリニック
- ・日本赤十字社愛知医療センター-名古屋第一病院
- ・公立陶生病院
- ・大船中央病院(申請中)
- ・関東労災病院
- ・半田市立半田病院
- ・横浜労災病院(申請中)
- ・東名古屋病院
- ・常滑市民病院
- ・大阪公立大学附属病院
- ・総合上飯田第一病院
- ・久美愛厚生病院
- (申請中)
- ・名古屋セントラル病院
- ・名古屋徳洲会総合病院

□ メッセージ

指導医 (循環器内科部長 原田 憲)

当院の内科専門研修プログラムは、専攻医の希望に沿い、研修実績を評価しながら同時進行で複数科症例を経験していただけます。ローテーションしている診療科だけでなく、総合内科(新患)外来、救急外来の担当、週2回開催する総合内科カンファレンスでは初期研修医の指導等、求められる業務は多いですが、内科専攻開始後1年で様々な症例を経験でき、内科専攻医に必須の症例の経験を積むことが可能です。これに加えて院外講師による講演会も精力的に実施しています。内科専門各科は将来の志望に関わらず、垣根なく専攻医をバックアップします。当院での内科専門研修を希望する方はもちろん、将来の方向性がまだ定まっていない方も、研修を行っていく中で十分将来を選択する時間が持てる研修となっています。



□ 募集要項

・採用予定人数	7人
・給与/月額	約775,000円(当直手当等諸手当含む)
・当直回数/月	3回
・当直料/回	21,000円
・その他	
・応募連絡先	担当者 臨床研修センター 大野
	電話番号 052-652-5511
	Eメール kenshui@chubuh.johas.go.jp